

京都市学校教育の重点
子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、
「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」を高める

小中一貫教育目標
地域を愛し、主体的に学び、互いに協力して、
自らの未来を創造する児童生徒を育てる

太秦小学校
夢に向かって 進んで学び
ともに高め合い 学び続ける
子どもの育成

太秦中学校
自ら考え行動し、
協働できる生徒の育成
～つながりを意識した学校～

南太秦小学校
未来に向かって 新しい可能性
を切り拓こうとする子の育成
夢中になって学び
人との絆を深め
自分らしく生きる

目指す子ども像
「学ぶ 遊ぶ 協力 すべて楽しく！一生懸命太秦っ子」
進んで学習し、よりよい学びを創る子ども
命を大切にし、心も体もたくましい子ども
互いを認め合い、思いやりのある子ども
自分も友だちも大切にし、笑顔で挨拶できる子ども

目指す生徒像
周りの意見に耳を傾け
自分の考えを適切に伝えられる生徒

目指す子ども像
自ら学び、考え、進んで表現する子
多様な考え方を認め 互いを尊重する子
心と体 自分らしさを大切にする子

地域生徒指導連絡協議会、小・中PTAの連携と協働

『小中9年間の取組』

- ・お互いの授業参観および研究会等への相互参加
- ・9年間を見通した学習活動の推進
- ・合同研究主任会による各種学力調査の分析
- ・合同主任会による「あるべき姿」の確認と具現化に向けた方策の検討・実施
- ・小中学校間の教科作品交流の実施
- ・全国体力運動能力調査の結果の共有
- ・中学校給食試食会等による食育の推進
- ・中学校部活動体験（小学6年生対象）
- ・生活アンケートの実施と結果の共有
- ・9年間を通じた保健教育の充実
- ・中学校の授業体験（小学6年生対象）
- ・総合育成支援的視野に立った児童生徒への関わり
- ・探究的な学びの中核に総合的な学習の時間を据える